

# チャペル週報

人の生涯は草のよう。

野の花のように咲く。

(詩編 103:15)



2005 6 20 ~ 6.24 No.10  
関西学院宗教センター

---

## チャペル・スケジュール

---

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

---

- 6月20日(月) 神 駒木 亮 (神4)  
社 わたしが大切にしていること Ruth Grubel (宣教師)  
経 献血運動を覚えて 献血実行委員会  
院 Andreas Rusterholtz (宣教師)
- 
- 6月21日(火) ランバスチャペルアワー 於、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
文 田 淵 結 (宗教主事)  
法 ハビタットの活動 ハビタット  
経 ランバスチャペルアワーに合流  
商 ランバスチャペルアワーに合流  
総 大 西 和 明 (RCC:キリスト教と文化研究センター事務長)
- 
- 6月22日(水) 神 トーンチャイム隊による音楽礼拝  
文 English Chapel Richard Stinson (宣教師)  
社 わたしが大切にしていること 徳田真二(宗教センター事務長)  
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 春の音楽チャペル 関西学院パロックアンサンブル  
商 嶺 重 淑 (神学部専任講師)  
理 人権特別礼拝「障害を超えて・車いすと共に生きる」松本尚晃(兵庫県ポツチャ協会会長)  
総 今 泉 信 宏 (宗教主事)
- 
- 6月23日(木) 神 嶺 重 淑 (神学部専任講師)  
法 能 島 裕 介 (NPO法人ブレインヒューマニティ)  
経 English Chapel Andy Haddon (経済学部英語常勤講師)  
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)  
総 池 内 光 宏 (元高等部教諭)
- 
- 6月24日(金) 神 金 度 亭 (M2)  
文 森 田 雅 也 (文学部教授)  
社 わたしが大切にしていること 池埜 聡(社会学部助教授)  
経 春の音楽チャペル 関西学院ゴスペルクワイア"Power Of Voice"  
商 辻 学 (宗教主事)  
理 「前進のための後退」松木真一 (宗教主事)
- 
- ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00~8:20 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
6月24日(金) 中等部のために 廣 山 義 章  
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗 教 主 事 室
-

# 関学生の本棚

今 井 嘉 一

書店に行くと、新刊書のコーナーにいつも多くの本が並んでいます。絶え間なく新しい本が出てきては、人々が熱心に選んで買っていく様子を見てみると、本というものも食物や衣料品などの消費財と変わりがないように思えます。しかし、衣食住の必要からではなく、知識や知恵を求めて人々は本を求めるという点で、本は他の商品と本質的に異なります。そして、人々の考え方に大きな影響を与え、ひいてはその時代の価値観を醸成するという意味で、本は特別な力を持っています。

この数年来、哲学に関する入門的な本が数多く出版されています。これまでも、時代の変わり目になると哲学書が売れたそうですが、新刊書の棚に見かけるのは、誰にでも理解できるような平易に書かれたものが多いです。社会環境が変化するなかで、生き方の指針となるものが求められているのかもしれませんが。しかし、キリスト教は、長い歴史を通して哲学に多大な影響を与えてきたにもかかわらず、こうした本において取り上げられることはあまりありません。あったとしても、肯定的に語られることは少ないようです。キリスト教の名で人類が犯してきた罪を考えるとやむを得ないでしょう。しかし、問題は、本だけでなく、テレビや新聞、インターネットなどによって、これまでのどの時代よりも圧倒的な量の情報が流れ込んでくるなかで、私たちが聖書を自分で読んで判断することをしないまま、キリスト教に対する「時代の解釈」を鵜呑みにしてしまう危険があることです。

聖書のなかで、イエス・キリストはこう語っています。

「わたしのもとにきて、わたしの言葉を聞いて行おう者が、何に似ているか、あなたがたに教えよう。それは、地を深く掘り、岩の上に土台をすえて家を建てる人に似ている。洪水が出て激流がその家に押し寄せてきても、それを揺り動かすことはできない。よく建ててあるからである」（ルカによる福音書6章47・48節）

情報化社会は、他人の考え方や価値観が繰り返しメディアを通して語られる社会です。それに慣れきった私たちは、つい無批判にメディアの主張を受け入れてしまいがちです。関学生であるあなたは、他人の解釈に左右されるのではなく、自分の本棚に聖書を置き、自分の心でイエス・キリストに聞いてほしいと思います。イエス・キリストの言葉は、私たちの関西学院の命です。この人に聞くことによって、皆さんが情報の激流に揺れ動くことのない人生の礎を強く築かれることを心から願っています。

（神戸三田キャンパス事務室職員）

#### ランバスチャペルアワーのご案内

「ランバスチャペルアワー」は学部の枠を越えて学生の手で企画実施しているチャペルプログラムです。毎月1回、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にてチャペルアワーがもたれています。多くの方のご参加をお待ちしています。

6月21日(火) 10:35~11:05

テーマ:『キリ教と私』

#### 夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血運動を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。

皆さまのご協力をお願いいたします。

期 間: 6月20日(月)~24日(金)

場 所: 学生会館前プラザ

#### 教職員・学生有志による日曜礼拝

授業期間中の第2第4日曜日に一部英語を用いるバイリンガル形式で礼拝が行われています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月26日(日)

午前10時~11時 関西学院会館ベーツチャペル

#### CDライブラリー

宗教センター事務室には教会音楽に関するCDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞ。

#### 使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。宗教センター常設の回収箱にお届けください。